立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988
Fax.03-3595-9088

ホームページ

2025.12.2 号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

なんの 南野けいすけ議会報告

https://keisuke-nanno.com/　☎090-1911-4306

R7年第1回定例会代表質問⑥

第88号　発行日：2025年12月2日

第一回定例会にて

2025年2月21日から3月26日まで令和7年第1回定例会が開催されました。3月6日～7日には、会派代表質問が行われました。今号はその第6弾です。

6　貝塚市人権擁護に関する条例について

◆南野敬介

貝塚市人権擁護に関する条例は、1994年（平成6年）に制定され既に30年が経過いたしました。この30年間で人権課題も多岐にわたるものとなってきたというのも肌身で感じております。30年前には言葉すらなかったヘイトスピーチ、LGBTQという課題、それだけ多様性が認められる社会になったことは本当にすばらしいことだと思います。

国においても、平成28年には障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（いわゆる障害者差別解消法）、本邦外出身者にわたる不当な差別的言動の解消に向けたヘイトスピーチ解消法（いわゆる部落差別の解消の推進に関する法律）、部落差別解消推進法（いわゆる人権三法）が成立いたしました。

障害者差別解消法は、全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す法律であります。

ヘイトスピーチ解消法は、特定の民族や国籍の人々に対する差別意識を助長、誘発、地域社会から排除することをあおるような不当な差別的言動の解消を目指す法律であります。

そのようなことを考えたときに、30年前に貝塚市人権擁護制定されました条例の現在の課題を含めて、改正の必要があると考えますが、いかがでしょうか、お尋ねいたします。

第1回定例会（3月議会）代表質問

部落差別解消推進法は、現在もなお部落差別が存在し、情報化の進展に伴ってその状況が変化してきていることを踏まえ、部落差別のない社会の実現を目指す法律であります。

国においては、一方で人権課題は重要と認識され、人権行政基本方針が策定・改定されるなど、その都度議論が進んできたことと伺っております。

貝塚市では、国際的な人権尊重の潮流を踏まえ、国民は全ての基本的人権を有する存在であり、法の下に平等であることを定められている日本国憲法及び全ての人間は生まれながらに自由であり、かつ尊厳と権利を定められている世界人権宣言を基本理念として、人間の尊厳が侵されることなく、部落差別をはじめあらゆる差別を根本的かつ速やかになくし、もって共生の社会を目指すことを目的とする条例の制定を目指すとあります。

そこで、私は人権課題が多様化する時代に対応するため、改めて条例の改正を訴えさせていただきました。貝塚市においても性別を超えた市民一人ひとりの参加による差別のない住みよい国際都市貝塚市の実現に寄与するパートナーシップ宣誓制度も確立できましたが、小さな取組ではございましたが、幾つかのカップルが安心して貝塚市で暮らせる取組が進みました。

◎市長

本市では、これまでも同和問題やピッチ障害者差別など取り組んでこられたLGBTQ、インターネット上の人権侵害や複雑多様化する人権課題を、体系的に整理し、人権施策推進方針を定めるべく、基本方針の策定に向けて現在、検討を進めているところであります。

◆南野敬介

市内部で精査中ということでございますが、あとの政策の解決のために、条例の改正が必要であるかどうかを、市内部で精査中であります。

◎市民生活部長

この条例自体が平成６年９月にできた条例でございます。

質問とも絡んでくるかもしれませんが、そういった意味では、審議会を大いに活用して、論点を整理していくというのが大切だと思います。

◆南野敬介

精査しているところです。訂正しますが、施策を進めていくと変えるべきところがあるかどうか、何度も精査していくというところでございます。

◎副市長

30年前には、女性に対する外国人の人権問題、性犯罪、ストーカー、DV、ハラスメントなど、今の時代とは随分世の中の変わってきたと思います。

貝塚市議会YouTube
YouTube録画配信しています

議会報告ニュース
のバックナンバー
https://keisuke-nanno.com/keisuke-news/

この条例が制定されてから30年、人権三法も制定されたり、そういう情勢の中、言葉の定義、本当に正しいのかどうか、部落差別の問題、幅広く人権侵害の定義、何度も見直しを行ってきた人権問題に対する政策の方針を、今後、精査していくとのことであります。

ブログ　貝塚市議南野 fadcebook　南野けいすけ fadcebook　ツイッター　インスタグラム　タイムライン　LINE@